

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成22年11月25日（木）午後7時30分～午後8時45分		
会場	箕輪公民館	出席者数	12人 (男11・女1)
地域座談会の内容（市長講話・質疑応答の内容等）			
<p>●配布資料に基づき市長が市政報告を行う。 主な発言は、◎振興計画の見直し、◎景気・雇用、◎子供手当、◎農産物ブランド化、◎将来人口、◎市財政の現状についての報告。</p> <p>●質疑応答</p> <p>質問 旧道の側溝整備をしてもらったが、雪を捨てる詰まると溢れてしまう。もっと広くして溢れないようにしてもらいたい。</p> <p>市長 建設管理課で現場を見て、対応したい。 建設管理課都市整備室長 側溝は融雪溝ではないので雪を入れることは想定していない。町会長さんと、状況を確認したい。</p> <p>質問 農免農道の整備状況について聞きたい。現在工事中だが、ゆくゆくは観光客が利用することが考えられるので、国道287号から農免農道までの案内板が必要だと思う。また、冬期間の除雪はどうなるのか。</p> <p>市長 農免農道は、平成23年度に完成予定。県とも十分話し合っ、（案内板は）分かりやすいように目立つ看板を考えていきたい。 除雪については、冬場も通るかどうかは出来てみないとわからないと思うが、もし、観光客が冬の慈恩寺を見たいとなれば、状況を見て対応していきたい。</p> <p>意見 通りに鳥居なんかがあると目立つのではないか。</p> <p>市長 慈恩寺については、一山全体について国の史跡指定を目指しているが、そうすると、規制も出てくる。家の建て替えについても山の景観にマッチしたものに協力してもらわなければならない。 先日、一山、地域関係者が一堂に会して協議会を設置。東北で有数の名刹なのでPRして頑張っていきたい。</p> <p>意見 その割に道路が狭い。あれでは大型バスは通れない。何とかしないと。</p> <p>市長 道路については、わかりにくいとお叱りも受けており、狭いですが、今後どうするかについては、地域の人々の理解も必要になってくる。また、国史跡指定となれば、まとまって協力目標に向かって、個々バラバラでなく、統一して徐々にいい方向に進めていきたい。</p>			

質問 二点お伺いしたい。一つは、醍醐小学校跡地の利活用についてです。現状は、更地でかなり荒れており、母校が荒れているのは見苦しいと、年2回町会長で除草活動をしているが、どのような活用を考えているか伺いたい。

二つ目は、慈恩寺観光施策についてですが、新幹線内の雑誌トランベールでPRなったこともあり、観光客が急増している。かつて、県・市で観光ボランティア講習があり受講し、その後、二期生の研修会を行ったが、受講者が少なく、さらに、市外の方や高齢の方が多く退会者が増えた。現在17名ですが、高齢者が多く不安がある。観光ボランティアの三期生養成講座をお願いしたい。

慈恩寺には、休憩所や土産店も無く、資料館の話も立ち消えになっており、どのように考えているのか伺いたい。

市長 醍醐小学校跡地については、現在具体的計画はありません。場所的に静かなところなので、静かな施設がいいと思う。議会でもご指摘を受けていますが、今回の振興計画策定のなかで考えをまとめていかなければと思っている。

慈恩寺観光について、慈恩寺は東北でも有数の古刹で、仏像は立派だが、周りの環境は観光客を満足させられない状況にある。総合的な観光地としての整備が大事なのではないか。慈恩寺そのもののアピールも必要だが、受け皿が大事である。JRにも高松駅を慈恩寺の入り口らしい作りにもしてもらった。高松駅に貸し自転車置いてくれとの要望もあるが、慈恩寺観光して帰るときの日中の列車が無いので、JRには再三要望している。慈恩寺をいろんな人から理解してもらうことが必要で、これについては行政の仕事だと考えている。吉村県知事も慈恩寺に関心を持っており、県の事業支援もお願いしていく。

質問 35年前に日和田箕輪線を整備した。数年前、河北町側から一部オーバーレイを実施したが、その後整備されておらずでこぼこである。平成23年度に農免農道が完成予定で、箕輪から慈恩寺に登ることも想定されるので、完成までに不良箇所を整備して欲しい。また、箕輪はかつては米の生産日本一のところで、今はさくらんぼの新しい生産方式などで頑張っており、輸送時の（果実の）痛みも避けたい。迅速な対応をお願いしたい。

市長 状況を見ながら、できれば年度内に、遅くとも農免農道の完成前には対応していきたい。

質問 土砂崩れの場所についてですが、下の土を山際に置いたまま、予算の関係で工事が中断している。県との話では、当初、広場に敷きならすことになっていたはず。今後の措置をどうするかお聞きしたい。

市長 ご心配をおかけしています。県と市で対策を講じており、今は県で堰堤整備を行っているはず。下の土については、当初説明のとおり対応をしてもらうよう、県の方に言うておきます。

質問 下水道がこちらには来ないことになったが、合併浄化槽はいつから切り替わるのか。

市長 平成24年度頃から進めていかなければと考えている。県とは協議済みで了承してもらっている。合併浄化槽はこれまでもしていることの延長になるのでできるだけ早く切り替えたい。下水道のように料金をいただいて市で管理する市町村設置型の合併浄化槽を考えております。

質問 説明は受けたが、補助金の内容については聞いていないが。

市長 それぞれの家で流していたものを市で管理する。排水については、いままでの合併浄化槽よりきちんと管理しなければならない。農業用水に影響の無いよう土地改良区と協議していくので、多少時間はかかる。維持管理は市で行い、設置は各自で行う。考え方が変わって不安な要素もあると思うがきちんとお話ししていきたい。

質問 市町村合併についてどのように考えているか伺いたい。よその町は、もっと人口が減っているのではないか。

市長 合併については、私としては推進していきたいと考えているが、前回頓挫した経過があり、周囲の4町の首長さんがどう考えているかということになる。当時の首長は河北町長さんしか居ないが、2～3年の間でそれぞれの地域の人々の考え方が変わるものではないと思う。ただ、消防などで連携しており、それぞれの分野で、広域連携の必要性は相当出てきており、これらが広がれば地域の皆さんも考えてくれるのではないかと思っている。その絆が広がっていけば進むのではないかと思う。首長の判断で無く、最終的には住民の意見、住民投票ということになる。

意見 河北町も町会議員がいろいろあるようだ。町民はそうでもないようだが、反対の町議がいるようだ。

市長 大石田、河北、大江など、昔、最上川舟運で栄えた町は、いろいろあるようだ。特に大石田、尾花沢の合併は花笠市と名前まで決まっていたのに、住民の機が熟さず頓挫してしまった。最終的に機が熟すのを待たなければならず、機運を醸成することが大事。また、現在は、合併による財政上のメリットが無くなってしまったので進まない。ただ、将来的には基礎自治体を大きくしないと大変だと私は思っている。企業合併とは違って、自治体は倒れそうになって初めて、合併ということになる。

後日に回答した事項等

要 望

○ 慈恩寺観光施策について

新幹線内の雑誌トランベールでPRなったこともあり、観光客が急増している。かつて、県・市で観光ボランティア講習があり受講し、その後、二期生の研修会を行ったが、受講者が少なく、さらに、市外の方や高齢の方が多く退会者が増えた。現在17名ですが、高齢者が多く不安がある。観光ボランティアの三期生養成講座をお願いしたい。

【商工観光課】

<回答>

慈恩寺における観光ボランティアについては、本山との連携を図りながら、アシスト役としてその役割を担ってきたところです。

観光客の受入態勢については、現在、本山慈恩寺において案内業務の充実が図られており、観光ボランティアの業務が減少しております。このようなことから、寒河江市観光協会では、今後の案内業務についてボランティアの方々とも相談しながら、対応を検討していくとのことです。